

## デジタル教科書のクラウド配信版を希望するにあたって 成果物データ保存先を3パターンから選択する際の判断資料

クラウド配信版の使用を希望する際には、成果物データ（デジタル教科書上に書き込んだ情報等）をどこの場所に保存するかについて、3つのパターンから選択していただく必要があります。以下の資料を参考にして、配信希望の申請をする前にどのパターンで使用するかをご判断ください。

なお、配信版の使用を開始した後にパターンを選び直すことは可能ではありますが、弊社側で改めてライセンスの発行をし直す必要があること、お客様側でもライセンスごとにユーザー登録をし直す必要があること、既存の成果物データを引き継ぐことはできないことなど、多くの手間と支障が生じますので、十分にご検討いただき選択するようにしてください。

※ここでいう「ユーザー」とは、クラウド配信でデジタル教科書にアクセスする際に入力するユーザー名のことを指します。

1 ユーザーにつき1ライセンスが必要です。

### 1. 端末とブラウザの組合せによって選べる保存先の種類

クラウド配信の場合（パブリック）		
Windows PC	まなビューア専用ブラウザ ※各社HPなどからダウンロード	「①クラウド保存」と「②端末保存」の選択が可能。「③ファイル保存」は、結果的に②と同様の状況になる。
	標準ブラウザ（IE, Chrome, Edge）	「①クラウド保存」「②端末保存」「③ファイル保存」の3つから選択が可能。
iPad	まなビューア専用ブラウザ ※App Store からダウンロード	「①クラウド保存」と「②端末保存」の選択が可能。「③ファイル保存」は、結果的に②と同様の状況になる。
Chromebook	標準ブラウザ（Chrome）	「①クラウド保存」「②端末保存」「③ファイル保存」の3つから選択が可能。

※Chromebookには、まなビューア専用ブラウザのインストールはできません。

iPadでは、標準ブラウザであるSafariでの使用が未対応です。

### 2. クラウド配信の場合の成果物データの保存先について

#### ＜①クラウド保存＞ クラウド配信サーバー上の所定の場所に成果物データを保存する

ユーザーごとに、クラウド配信サーバー上の所定の場所に成果物データを自動で保存します。ユーザーとクラウド配信サーバー上のデータが紐づけられているため、同じユーザーを使用すれば、どの環境から使用しても同じ成果物を参照することができます。どの端末・ブラウザの組み合わせであっても同じです。

#### ＜②端末保存＞ 使用する端末内の所定の場所に成果物データを保存する

使用する端末内の所定の場所（使用するブラウザの領域内）に成果物データを自動で保存します。別のユーザーで使用したとしても、同じ端末からの使用であれば、同じ所定の場所に上書きされてしまいます。端末内に成果物データが保存されるため、使用する端末を変更すると成果物データは参照できなくなります。但し、使用するブラウザを切り替えて使用したり、OSのログインアカウントを切り替えて使用したりすれば、複数の成果物データを切り替えて使用することは可能です。

#### ＜③ファイル保存＞ 任意の場所を指定して成果物データを保存する

標準ブラウザを使用する場合は、端末からドライブとして参照できる任意の場所に、任意のファイル名で成果物データを保存することができます。複数の成果物データを保存しておくことが可能になるので、成果物の履歴を残しておきたい場合などに有効です。例えば、Google ドライブや自治体・学校が用意しているネットワーク上の共有フォルダなどに保存すれば、ユーザーや端末を変えて使用する場合でも、保存した成果物データを参照することが可能となります。

**注1** ②、③で「まなビューア専用ブラウザ」を使用する場合

Windows版では、「まなビューア専用ブラウザ」の管理画面で指定する場所に自動で保存されます。iPad版では、iPad内に自動で保存されます。よって、③ではWindows版もiPad版も、任意の場所・ファイル名での成果物データの保存はできません。

### 3. 学習者用デジタル教科書をクラウド配信で使用する場合のパターン選択の考え方

「学習者用デジタル教科書」の配信を希望する場合は、児童・生徒ごとに1ユーザー1ライセンスが必要であることを前提に、使用する環境（使用端末は固定か非固定か／使用する端末種ブラウザは何かなど）によって、①②③のどれを選択するかをご検討ください。

### 4. 指導者用デジタル教科書をクラウド配信で使用する場合のパターン選択の考え方

「指導者用デジタル教科書」の配信を希望する場合は、先生ごとや担当クラスごとに成果物データの管理の要望があるものと考えて、複数のライセンスを発行させていただきます。①②③での対応を次のようにさせていただきますので、それを参考にご判断ください。

#### <①クラウド保存> クラウド配信サーバー上の所定の場所に成果物データを保存する

「指導者用デジタル教科書」用のライセンスとして、20ライセンスを発行させていただきます。

ライセンスごとにユーザーを登録し、成果物データを分けて保存したい単位（先生ごとやクラスごと等）で、ユーザーを先生方で使い分けていただくようにしてください（注2参照）。

#### <②端末保存> 使用する端末内の所定の場所に成果物データを保存する

先生ごとにユーザーを登録して使用していただくことが望ましいため（注2参照）、20ライセンスを発行させていただきます。

標準ブラウザを使用する場合は、端末内のブラウザの領域内に成果物データが自動で保存されますので、クラスごとに成果物データを管理したい場合は、Windows版、iPad版、Chrome版ともに端末を変えるか、OSのログインアカウントを変える必要があります。Windows版では、使用するブラウザを切り替えて使用すれば、同じ端末でも成果物データを複数個管理することも可能です。

専用ブラウザを使用する場合は、Windows版では端末を変えるかOSのログインアカウントを変える、iPad版では端末を変えて使用していただく必要があります。

#### <③ファイル保存> 任意の場所を指定して成果物データを保存する

先生ごとにユーザーを登録して使用していただくことが望ましいため（注2参照）、20ライセンスを発行させていただきます。

標準ブラウザを使用する場合は、成果物データの保存場所を変えたり、ファイル名を変えたりできるので、複数の成果物データを保存しておくことが可能となります。先生ごとに使用する端末が決まっている場合は、ご自身でデータの管理が可能ですので、最も有効な方法です。なお、同一のユーザーで別々の先生が別々の端末から同時にクラウド配信を利用したとしても問題は生じません。まなビューア専用ブラウザを使用する場合は、Windows版では端末を変えるかOSのログインアカウントを変える、iPad版では端末を変えて使用していただく必要があります。

**注2** 他のデジタル教科書や教材の使用を同一の端末で行う場合

クラウド配信で、まなビューアを使用した複数のデジタル教科書や教材を使用する場合、それらすべてが本棚に並んで表示されていると便利です。そのためには、同一のユーザーにすべてのデジタル教科書や教材のライセンスを割り当てて登録する必要があります。

よって、先生ごとにユーザーを割り振ることができるように、①②③のパターンすべてにおいて、複数のライセンスを発行させていただきます。

以上、ご検討をお願い致します。